

保幼少中一貫教育を推進する東通村では、こども達が豊かな感性を發揮し合い、10月9日（金）にはこども園ひがしどおりで音楽発表会が、18日（日）には東通中学校文化祭が、24日（土）には東通小学校学芸会が開催されました。

## こども園ひがしどおり音楽発表会

こども園ひがしどおりでは、4回目を数える音楽発表会が開催され、4・5歳児がステージに立ちました。

オープニングでは、4歳児が今回初めてとなる「カップス」を披露。プラスチックカップを器用に使って奏でるリズムと、元気いっぱいの歌声で会場を盛り上げました。

続く合唱では懐かしのアニメソングメドレー。初めて聴くお父さん・お母さんが子供の頃の歌を、感情豊かに歌いました。

そして、器楽演奏では、短い練習期間をものともしない、5歳児の見事な演奏。ひとりひとりが役割を持って、今年はジャズにも挑戦し、開場を沸かせました。



## 東通小学校学芸会

小学校では、普段は別のクラスに分かれた各学年の子供たちが1つの学年として臨みます。学年毎に趣向を凝らし、個性溢れる音楽や劇、表現に、会場は笑顔と感動に包まれました。

どの学年も舞台いっぱいの発表で、最後を飾る6年生の劇は名作「火垂るの墓」。迫真の演技で戦争を題材とした難しい情感を表現し、会場も子供たちにも涙が溢れました。

また、東通小学校は文部科学省の「スーパー食育スクール」事業のモデル校に指定されていて、プログラムの中で、その取り組みが発表されました。子供たちが取り組む先進的な食育の報告発表に、保護者の皆さんも関心を寄せて聞きこんでいました。

## 東通中学校文化祭

中学校では、弁論や演劇、モザイクアートの披露や制作物の展示など、生徒自身が考え、また、日々の学校生活の中で取り組んできた成果が発表されました。多感な生徒たちの発表は、人生観など難しい題材を取り上げることも多く、観ている側も考えさせられる場面があります。

恒例の合唱コンクールでは、各学年各クラス、生徒自身が考え、自分たちが作り上げた合唱を発表し、クラスごとに特色のある歌声で競い合いました。

当日舞台上に上がらない生徒たちも、放送や照明、展示作業で文化祭を支え、生徒一丸となった東通中学校の文化祭でした。

